

◎大船駅周辺整備の経費

周辺整備事業 【 大船駅周辺整備課 】

【総合計画上の位置づけ】

安全で快適な生活が送れるまち

市街地整備:まちづくりが計画的に進められていて、生活しやすい市街地が形成されているまち

【事業の目的】

対象 市民等

意図 大船駅周辺地区都市(まち)づくり基本構想に定める地区の将来像の実現に向けてまちづくりを進めていくため。

効果 ①商業拠点の形成と都市機能の強化による賑わいのあるまち②優しさと快適さを備えた魅力ある都市環境を創造するまち③活力に溢れ暮らしに文化の香りたようまちを創造する。

【事業の内容】

(1) 周辺整備事業

- ・大船駅笠間口前を安全で快適な歩行空間として整備するため、大東橋南側市街地整備用地の取得等の交渉を権利者に行ったが合意に至らず、事業の実施ができなかった。
- ・鎌倉芸術館周辺地区における、アーバンモール整備事業の具体化に向け、住民等の合意形成を目指す目的で、地権者への意向確認調査や懇談会を行った。
- ・鎌倉芸術館周辺地区における住民主体のまちづくり活動(砂押川沿いの桜並木の保全再生等)への支援を行った。

(2) 周辺整備運営事業

- ・まちづくり協議会(2地区)を運営した。

【中事業に含まれる実施計画事業】

都市づくり基本構想の推進(大船駅周辺整備構想)(5-2-1-④)

大東橋周辺地区のまちづくり(大船駅周辺整備構想)(5-2-1-⑥)

鎌倉芸術館周辺地区のまちづくり(大船駅周辺整備構想)(5-2-1-⑦)

大船駅南部地区のまちづくり(大船駅周辺整備構想)(5-2-1-⑧)

【事業費】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
55,590	55,590	1,093		54,497
主な支出内訳				
・ 周辺整備事業				
				234
				267
				273
				42
				0
				0
				0
・ 周辺整備運営事業				
				132
				137
				8

平成21年度事務事業評価シート

事務事業 No./名称	■サービス部門 拠点-02 周辺整備事業 □支援部門						
事務事業 単 位	ザイムス コード及び 個別事業 名	1038 周辺整備事業					
		1116 周辺整備運営事業					
主管課	大船駅周辺整備課	関連課	各部各課				
分野名	市街地整備						
目標 (目標値)	大船駅周辺地区都市(まち)づくり基本構想及び基本計画(案)に基づき、大東橋周辺地区・鎌倉芸術館周辺地区・大船駅南部地区について、地区ごとの特色あるまちづくりを推進するため、地区計画の決定及び景観法に基づく特定地区の指定を目指す。						
人口等の データ	データ区分	20年度	19年度	18年度	備 考		
	人 口	176,484人	175,902人	175,051人	・各年4月1日		
	世 帯 数	77,430世帯	76,536世帯	75,611世帯			
運営資源 状 況	決算値	1,093千円	187,074千円	169,468千円	・18年度の主な経費 大船駅東西自由通路 拡幅工事に伴うJRへ の負担金に係る経費 ・19年度の主な経費 大船駅東西自由通路 拡幅工事に伴うJRへ の負担金に係る経費		
	(国・県)		2,737千円	36,668千円			
	(負担金等)			656千円			
	(一般財源)	1,093千円	184,337千円	132,144千円			
	人員配置数	2.5人	2.5人	2.5人			
	人件費	25,474千円	23,155千円	23,158千円			
協働の パートナー	鎌倉芸術館周辺地区・大船駅南部地区まちづくり協議会、砂押川フロムナード桜愛護会、鎌倉女子大学 鎌倉芸術館周辺地区・大船駅南部地区まちづくり協議会、砂押川フロムナード桜愛護会、鎌倉女子大学 大東橋周辺地区・鎌倉芸術館周辺地区・大船駅南部地区まちづくり協議会、砂押川フロムナード桜愛護会、鎌倉女子大学						
事務事業 運営経費	総事業費	26,567千円	210,229千円	192,626千円			
	市民1人当りの経費	151円	1,195円	1,100円			
	対象者1人当りの経費						
20年度事務事業の変更点(新規・廃止・縮小した個別事業)/事業仕分けの視点による妥当性の評価							
個別事業名	変更額(千円)	事業の変更点・変更理由			妥当性※		
					※妥当性の評価 ① 必要性なし ② 民間 ③ 国・県 ④ 現行どおり(鎌倉市)		
指 標	評 価	年度	19年度	20年度	21年度	22年度	最終年度(年度)
まちづくりルール等の制定	○	目標値	1地区・3制度	2地区・4制度	2地区・5制度	3地区・6制度	3地区・8制度
		実績値	1地区・2制度	2地区・3制度			
指 標	評 価	年度	19年度	20年度	21年度	22年度	最終年度(年度)
駅乗降客数	◎	目標値	173千人	174千人	174千人	174千人	175千人
		実績値	180千人	175千人			
指 標	評 価	年度	19年度	20年度	21年度	22年度	最終年度(年度)
		目標値					
		実績値					
指 標	評 価	年度	19年度	20年度	21年度	22年度	最終年度(年度)
		目標値					
		実績値					
評価 ◎:目標を達成 ○:目標に向かって前進している △:横ばい ×:後退している ベンチマーク(県内外自治体や民間団体との比較値)							
団体名							

平成21年度事務事業評価シート

創意・工夫・課題等改善状況	課題・問題点	<p>(20年度事務事業を実施するうえでの課題・問題点は、どのようなことでしたか)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大船駅周辺地区都市(まち)づくり基本構想及び基本計画(案)に基づき、大東橋周辺地区、鎌倉芸術館周辺地区、大船駅南部地区の3地区について、まちづくり協議会を継続し、まちづくり方針の実現に向け、地区計画や景観法に基づく特定地区等のまちづくりルールの策定を図る。 ・大東橋周辺地区については、計画的な都市整備の誘導を図るため、地権者の意向把握や意見交換の場を設ける。 ・松竹通り沿道については、地元の意識啓発を図り、大船駅と鎌倉芸術館を結ぶ都市軸にふさわしいまち並み形成の誘導を図る。 ・本市の再開発事業と横浜市側の再開発事業等について、都市整備の実現に向けた柔軟な対応を図る。 ・まちづくり交付金の事務執行について、適切な執行体制のあり方を検討する。
	創意・工夫・課題等の改善点 20年度の成果	<p>(課題・問題点についてどのような創意工夫、改善をしましたか。また、どのような成果がありましたか)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・鎌倉芸術館周辺地区については、地区計画や景観法に基づく特定地区等のまちづくりルールの策定に向け、まちづくり専門家等によるまちづくりのルール等の素案を策定し、地権者等の意向把握や意見交換を行う場として懇談会を開催した。 ・大船駅南部地区については、富士見町町内会と協働で、鎌倉市まちづくり条例に基づく自主まちづくり計画を策定し、提案した。 ・まちづくり交付金事務の執行体制について庁内調整し、平成21年度から管轄を企画部局へ移行することについて合意が得られた。
	未解決の課題・問題点	<p>(20年度事務事業の取組において対応(解決)できなかったものはどのようなことですか)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大東橋周辺地区については、大船駅の北の玄関口としてのまちづくりや計画的な都市整備を誘導する必要があるため、笠間口開設後の周辺での土地利用や横浜市側の再開発事業等の動向を踏まえ、地権者等の意向把握に努めているところである。 ・大船駅と鎌倉芸術館を結ぶ都市軸となる松竹通り沿いのまちづくりを進めるためには、地元の協力は不可欠であるが、現時点では、まちづくりに対する地元意識の高まりが見られない状況にある。 ・本市及び横浜市側の再開発事業等の進捗遅延のため、都市整備の実現に向けた対応が遅れている。
	今後の方針(対応・改善)	<p>(上記対応できなかった課題・問題点について今後どのように対応(改善)していきますか)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大東橋周辺地区については、大船駅の北の玄関口としてのまちづくりや都市整備に対する権利者等の意向を把握し、意見交換の場を設け、理解を得られるように努める。 ・松竹通り沿いについては、他地区のまちづくり状況を見据えながら、地元意識の高揚を図るための手法を検討する。 ・本市及び横浜市側の再開発事業等の進捗状況に併せ、関係機関及び地元住民等との調整を図る。

一次評価(課長評価)

今後の方向性	<p>A:充実又は拡大 C:統合又は縮小 E:事業完了 B:現状のまま継続 D:廃止又は休止</p>	B	改善の必要性
	<p>大船駅周辺地区都市(まち)づくり基本構想及び基本計画(案)に基づき、地域の特色を活かしたまちづくりを進めるとともに、定着しつつある住民主体によるまちづくりへの支援を継続し、地区のまちづくり方針の実現に向け、市民との協働によるまちづくりを推進していく。横浜・鎌倉両市の駅前再開発等の状況を見据え、駅直近の基盤整備の具体化について関係者と調整を図っていく。</p>		有
担当課長氏名:	渡辺 一		

二次評価(部長評価)

今後の方向性	<p>A:充実又は拡大 C:統合又は縮小 E:事業完了 B:現状のまま継続 D:廃止又は休止</p>	B	改善の必要性
	<p>大船駅周辺のまちづくりについては、周辺状況の変化に柔軟に対応し、まちの魅力と拠点性を高めていく都市整備が必要である。まちの将来を展望しつつ、限られた資源の活用し、効率的な事務事業の展開が必要である。身近なまちづくりの主役は地元住民や企業・大学等であり、地域主体のまちづくりを進めるためには、行政支援は必要不可欠である。</p>		有
担当部名	経営企画部	部長名	瀧澤 由人